

平成27年8月26日

## 卓越した高校生を発掘 「グローバルサイエンスキャンパス」事業始動

本年3月末に国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）が実施する「平成27年度グローバルサイエンスキャンパス」【プランA（標準型）】に採択された本学の事業が始動しました。

本事業は、国際的に活躍する次世代の傑出した科学技術人材を地域を挙げて育成する事業です。各地域から、それぞれの特色を生かした取り組みを通じて人材を育成します。育成対象は理数分野に意欲・能力ある高校生です。

実施にあたっては、広島県教育委員会や広島市教育委員会などと連携したコンソーシアムを設立し、地域ぐるみで国際的科学技術人材の育成プログラムを開発・実施します。

本学の事業概要は以下のとおりです。

### <企画名>

アジア拠点広島コンソーシアムによるGSC構想

### <概要>

グローバル化が進展する中で、国際社会に共通する課題を発見し、科学と技術によって解決を目指す人材を養成するために、アジアの拠点広島コンソーシアムを目指す。

本事業では、広島県内に所在する大学（広島大学、県立広島大学、広島市立大学、近畿大学工学部）、広島県を中心とした学術機関の研究施設などを活用したプログラムを、6つの分野（数学・物理・化学・情報・地学・生物）を中心にプログラムの進捗に応じた各ステージ（ホップ、ステップ、ジャンプ）において提供し、幅広い分野の基礎知識、論理的・批判的思考力、英語での発信力、研究を企画・運営できる調整力などを習得したサイエンス・スペシャリストを養成する。

### <支援金額>

3,500万円/年（上限）

### <支援対象期間>

最大4年度間

**GSC事業 ホップステージ講演会を開催**  
**8月30日（日）13:00～16:30**  
**広島大学霞キャンパス**

8月30日（日）、「グローバルサイエンスキャンパス」事業の講演会を広島大学霞キャンパスで開催します。

ホップステージ第2回目となる今回の講演会は、高校生200人余りが参加し、科学リテラシーや研究者倫理について「科学の学び方」を学びます。参加者はこの講演会での学習にとどまらず、各自の高校においても学習を重ね、9月末には生徒自身が設定した課題についてポスターセッションにより発表を行います。

「ホップステージ」終了後には、「ホップステージ」の内容を踏まえた選考を経て、約60人が次の「ステップステージ」へ進みます。

「科学好きな高校生」を、継続的・段階的な教育プログラムにより国際的に活躍する科学技術人材として、地域を挙げて育成していきます。

日時：8月30日（日） 13:00～16:30

場所：広島大学霞キャンパス医学部第5講義室  
（広島市南区霞1-2-3）

内容：13:30～14:15 科学リテラシー講座

講師：泉 俊輔（広島大学理学研究科・教授）

演題：「科学研究を始める前に・考え続けることの大切さ」

14:20～15:05 研究者倫理講座

講師：古澤 修一（広島大学生物圏科学研究科・教授）

演題：「科学論文作成上の注意」

15:15～16:15 科学講演会

講師：隠岐 さやか（広島大学総合科学研究科・准教授）

演題：「科学の歴史～理系…文系…いや真ん中系！」

**【お問い合わせ先】**

|                                                           |
|-----------------------------------------------------------|
| 教育・国際室 教育支援グループ 松田<br>TEL: 082-424-4835 FAX: 082-424-6170 |
|-----------------------------------------------------------|

# アジア拠点広島コンソーシアムによる GSC構想

---



# 育成する人材像

## 育成する人材

- 幅広い知識と経験
- 論理的・批判的思考力
- 英語による発信と議論

### 科学の学び方

- 仲間との協働
- 企画力・調整力
- 議論に参加

### 研究マネジメント力



## グローバルな課題

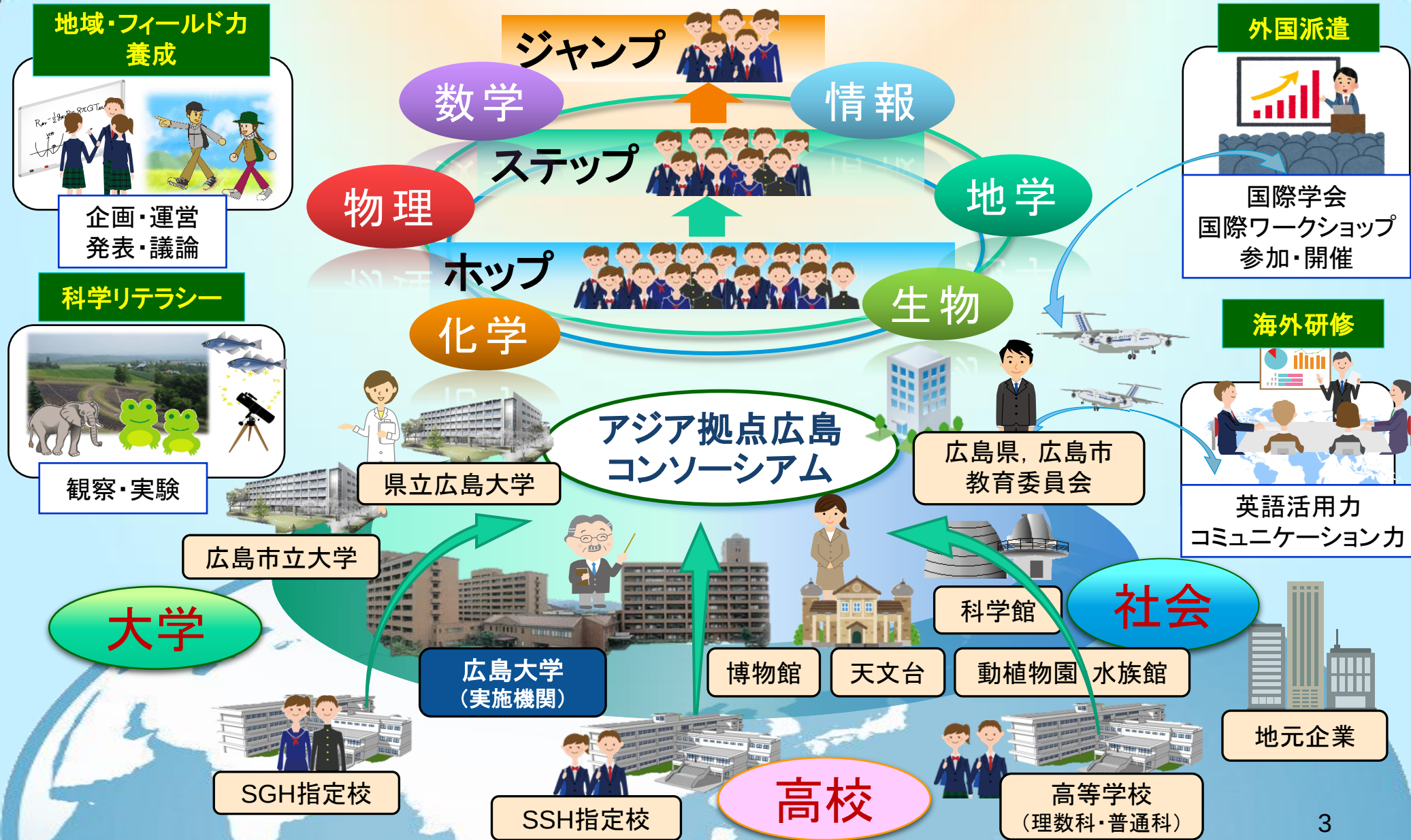
グローバルな環境で  
共同作業に携わる



“科学好き”生徒  
高い研究ポテンシャル

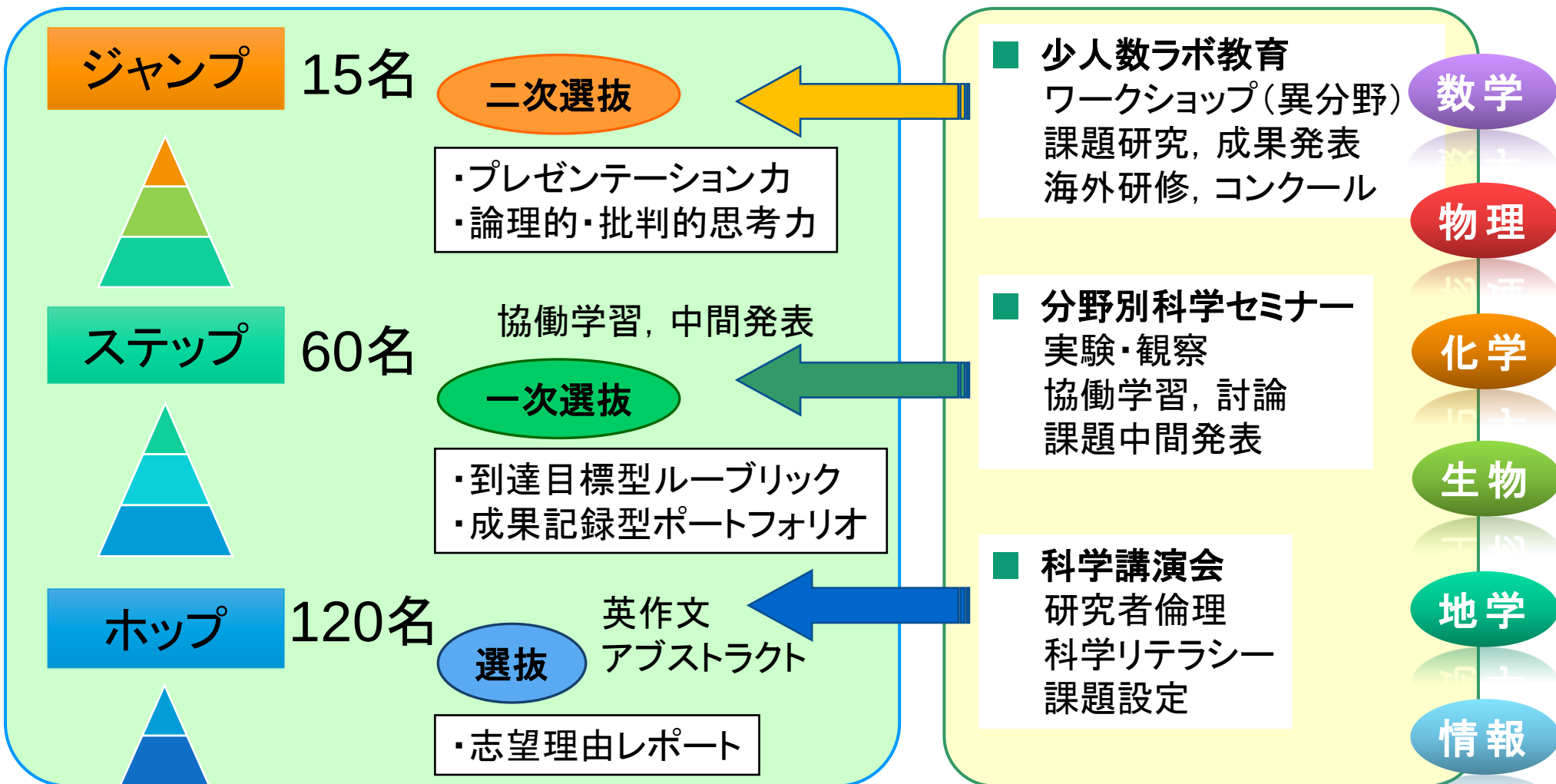
- ✓ 高度情報化社会に対応
- ✓ 世界規模の課題
- ✓ 人類が直面している課題
- ✓ 異分野の課題

# 企画・構想の全体像



# 教育プログラム

## 継続的・段階的な教育プログラム



理科が好きで実験や観察を楽しむ,  
仲間と議論しながら自分の意見や考えを述べることができる



## ■ 英語活用力を鍛える

- ・アブストラクト, PowerPoint を英語で

## ■ 外国の高校生-大学生との交流 「海外研修」

- ・研究成果の発表と議論
- ・成功体験と失敗体験を活かす
- ・見聞を広める



外国の学生と交流



海外の大学を訪問,  
ポスター発表で研究交流

### 数値目標

- |                  |            |
|------------------|------------|
| ・日本学生科学賞(ISEF予選) | 6件         |
| ・高校生科学技術チャレンジ    | 6件         |
| ・科学オリンピック        | 12名        |
| ・科学の甲子園(参加者)     | 24名(6名×4年) |
| ・国際学会等での発表       | 12件(4年間)   |
| ・論文発表(英文)        | 6件(4年間)    |